

平成22年度 知能機械情報学専攻

大学院修士課程入学試験問題

「知能機械情報学（論述）」

試験日時：平成21年8月25日（火）13：00～14：40

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 問題は問題1と問題2がある。全部に解答すること。
3. 問題冊子に落丁、乱丁、あるいは印刷不鮮明な箇所があれば申し出ること。
4. 答案用紙は2枚配布される。枚数を確認し、過不足があれば申し出ること。問題ごとに1枚の答案用紙を用いて解答すること。答案を表面で書ききれない場合は裏面を使用しても構わない。その際は裏面にも解答した旨を表面に記入すること。
5. 答案用紙の指定された箇所に、科目名の「知能機械情報学（論述）」、受験番号、その答案用紙で解答する問題番号を記入すること。これらが記入漏れの場合は採点されないことがある。
6. 解答に関係のない記号や符号を記入した答案は無効となる。
7. 答案用紙は、解答ができなかった分も含め、2枚全て提出すること。
8. 下書きは問題冊子の草稿用のページを用いること。
9. この問題冊子にも受験番号を記入し提出すること。

受験番号	
------	--

上欄に受験番号を記入すること。

草稿用紙
(切り取らないこと)

草稿用紙
(切り取らないこと)

問題 1

近い将来、ロボットがわれわれの日常生活の中でさまざまなサポートを提供することが期待されている。しかし、そのようにわれわれとロボットが共生するためには、解決すべき課題もある。以下の問に答えよ。

- 問 1. われわれがロボットから受けるサポートは、安全かつ安心なものでなければならない。ロボットによるこのようなサポートについて、技術的な観点から論ぜよ。
- 問 2. われわれの生活は、常にロボットに見られているようになるかもしれない。ロボットによる人の情報の取得について、個人のプライバシーの観点から論ぜよ。
- 問 3. われわれには、ロボットにして欲しいことと、そうでないことがある。ロボットはどこまで人をサポートしてよいか、人の尊厳の観点から論ぜよ。

以上

草稿用紙
(切り取らないこと)

問題 2

あなたが修士課程で取り組みたいと考えている研究について、以下の問に答えよ。

問 1. 研究を適切に表現するタイトルを考え、日本語と英語で記せ。

問 2. 研究の目的と概要を述べ、その研究を行う意義を複数の視点から述べよ。

問 3. 研究を進める際の手法を、具体的な研究計画とともに述べよ。

問 4. あなたの夢や将来像を述べ、そこでの修士課程の研究の位置づけを述べよ。

以上

草稿用紙
(切り取らないこと)

草稿用紙
(切り取らないこと)

草稿用紙
(切り取らないこと)